

平成29年度 事業計画について



2017年3月1日

1. 平成29年度事業計画の基本的考え方



- 平成27年に改定した「新たなステージをめざして2.0」に基づき、引き続きNTTグループ各社が、お客様に選ばれ続けるバリューパートナーとして、多彩なサービスの創造やビジネス機会の創出に取り組んでいく。加えて、積極的なグローバル事業の展開等により、企業価値の向上を図るとともに、グループ全体の発展に向けたグループ経営を推進していく。
- 平成29年度は、様々な産業分野とのコラボレーションを通じて新たなサービスの創造やビジネス機会の創出をサポートすることにより、B2B2Xモデルへの転換を推進し、持続的な事業成長を図っていく。また、先進的なブロードバンドネットワークの構築や多彩なサービスの創造に加えて、オープンイノベーションを継続・強化し、新たなビジネスモデルを支える技術や人材を生み出す研究開発活動を推進していく。

2. 設備投資計画

(単位: 億円)

	平成28年度 業績予想 (H29.3.1)	平成29年度 計画	
			対前年増減
研究施設	140 (－)	150	+10
共通施設等	30 (▲10)	30	－
設備投資合計	170 (▲10)	180	+10

注 ()内は、平成29年2月10日の業績予想からの修正額

3. 収支計画および資金計画



○ 収支計画

(単位:億円)

	平成28年度 業績予想(H29.3.1)	平成29年度	対前年増減
		計画	
営業収益	4,750 (－)	6,100	+1,350
グループ経営運営収入等	210 (－)	210	－
基盤的研究開発収入	1,000 (－)	950	▲50
研究成果移転収入等	40 (－)	40	－
個別研究受託収入	60 (－)	70	+10
配当金収入	3,440 (－)	4,830	+1,390
営業費用	1,340 (－)	1,300	▲40
営業利益	3,410 (－)	4,800	+1,390
経常利益	3,370 (－)	4,770	+1,400

()内は、平成29年2月10日の業績予想からの修正額

(単位:億円)

○ 資金計画

	平成29年度計画
資金収入	8,690 (600)
資金支出	8,690 (3,570)

()内は長期借入金及び社債等の額

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。